

Q 生活環境未整備解消の取り組みを

A 可能な限り要望路線の改良に努める



坂元 正春議員

集落内の町道・農道の清掃作業をどうすすめるか。集落道・里道の生活



▲整備が待たれる集落道

集落の実情にあつた対応で推進

道路改善に積極的な取り組みと、外路灯の未設置集落の促進、下水道の認可区域の範囲拡大の計画はあるか。

町長

集落内の清掃は従来からお願いしてきた。今後も協力をお願いしたい。集落道・里道の整備は「農村振興総合整備事業」で実施しており、可能な限り要望路線の改良に努める。集落内の外路灯は集落で対応をお願いしたい。本町の公共下水道は、平成21年度までの計画で進めている。新たな区域拡大の検討は、平成20年前後に判断したい。

利用者減少の対応策は

坂元議員

老人福祉センターの利用者は、かなり減っているが、利用者が減った原因は何か。利用者促進の

啓発、利用しやすい施設としての取り組みや、福祉バスの運行に問題はないか。

現状を把握し利用促進に努める

町長

「保健センター」と「あすばる大崎」ができたことや、デイサービスの事業所が増えた事、高齢の有職者が増えた事が考えられる。利用を高めるため高齢者の健康教室や、老人クラブへの加入促進と、利用しやすい工夫の話し合

いを進めていく。バスは地区ごとにコースを決め、利用しやすい行程を再検討していく。

学力が低下した原因は

坂元議員

今回の高校1年生の調査結果を踏まえ、小・中学校の学力の低下は「生きる力・ゆとり教育」の影響はないか。教師の指導力低下は。土曜日の休暇の影響は考えられないか。

調査結果がすべてではない

子ども達に学力をつけることは、学校の基本的な責務であり「自ら学ぶ」とする意欲をどう高めるか」が課題である。「学ぶ意欲」や「課題を見つけて解決する力」が確かな学力となり「生きる力」となっている。教育に対する学力向上に向けた強い意欲を感じており、教師の指導力は評価している。学校での学習時間が減った事で、家庭での宅習課題をあたえ「家庭学習の充実」に留意している。

	2003年	2000年
数学的応用力	①香港 550	①日本 550
	②フィンランド 544	②韓国 544
	③韓国 542	③ニュージーランド 542
	④オランダ 538	④フィンランド 538
	⑤リヒテンシュタイン 536	⑤オーストラリア 536
	⑥日本 534	⑥英国 534
	⑦フランス 511	⑦フランス 511
	⑧ドイツ 503	⑧米国 503
	⑨米国 483	⑨ドイツ 483
	⑩ドイツ 483	⑩ドイツ 483
総合読解力	①フィンランド 543	①フィンランド 543
	②韓国 534	②カナダ 534
	③カナダ 528	③ニュージーランド 528
	④オーストラリア 525	④オーストラリア 525
	⑤リヒテンシュタイン 525	⑤アイルランド 525
	⑥日本 498	⑥韓国 498
	⑦フランス 496	⑦英国 496
	⑧米国 495	⑧日本 495
	⑨米国 491	⑨フランス 491
	⑩ドイツ 491	⑩ドイツ 491
科学的応用力	①フィンランド 548	①韓国 548
	②日本 548	②日本 548
	③香港 539	③フィンランド 539
	④韓国 538	④英国 538
	⑤リヒテンシュタイン 525	⑤カナダ 525
	⑥フランス 511	⑥フランス 511
	⑦ドイツ 502	⑦ドイツ 502
	⑧米国 491	⑧米国 491
	⑨米国 491	⑨米国 491
	⑩ドイツ 491	⑩ドイツ 491
問題解決能力	①韓国 550	①韓国 550
	②香港 548	②香港 548
	③フィンランド 548	③フィンランド 548
	④日本 547	④日本 547
	⑤ニュージーランド 533	⑤ニュージーランド 533
	⑥フランス 519	⑥フランス 519
	⑦ドイツ 513	⑦ドイツ 513
	⑧米国 477	⑧米国 477
	⑨米国 477	⑨米国 477
	⑩米国 477	⑩米国 477

▲学習到達度調査の国際比較（平均得点）